

事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	バレーボールのまちづくり事業負担金		事務事業コード	113412
2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	担当者	小口康生
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政策	文化・スポーツの振興	施策 スポーツの振興
		事務事業	バレーボールのまちづくり事業負担金	
		予算科目	バレーボールのまちづくり事業	業務委託 なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助 なし
	根拠法令等	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容		
① 性質	負担金	② 期間	平成13年度～平成29年度
補助金の種別	—	③ 対象	その他
④ 制度の内容	各種のバレーボール大会等を開催する経費の一部を、バレーボールのまちづくり実行委員会へ交付する。		
⑤ 積算方法	必要経費＝負担金（1/2以内）＋独自収入（参加料・賛助金）		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	バレーボールの振興及び競技人口の拡大や競技力の向上を図る。 県内外のチームの参加による消費誘導効果や「人づくりとまちづくり」「地域活性化」「活力の創出」につなげる。		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	500,000	500,000	500,000	500,000
財源内訳	500,000	500,000	500,000	500,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	482,588	485,332	482,190	
予算執行率	96.5%	97.1%	96.4%	
支出額の前年度比		100.6%	99.4%	

③ 29年度の交付先

岡谷市バレーボールのまちづくり実行委員会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0		5
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			3
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		標準	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1			5
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			7
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。		0		
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		*有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		低い
評価項目		はい	いいえ			
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。		0			
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。		0			
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1				
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。		0			
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	<p>(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)</p> <p>バレーボールのまちづくり事業については、平成13年度より、地元高校のバレーボール競技における全国舞台での活躍をきっかけに、バレーボール人口の拡大やスポーツの関心、また人づくりとまちづくり、地域活性化及び活力の創出を図るため、岡谷市と岡谷市バレーボール協会等において「岡谷市バレーボールのまちづくり実行委員会」を立ち上げ、それまで実施していた大会や教室等の見直しを行い、各種部門別の大会や教室を開催している。</p> <p>現在、少子高齢化の進行等により、社会情勢は大きく変化し、市民のニーズは多様化している。今後、「岡谷市スポーツ推進計画」等に従い、スポーツの持つ力を更に活用し、スポーツの振興を図る必要がある。</p>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>実行委員会役員及び岡谷市バレーボール協会等とも協議する中で、時代に合った取り組みも含め検証する。</p>
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------